

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	邦楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしがいいしゃ さんろくや		
	制作団体名	株式会社 三六屋		
	代表者職・氏名	代表取締役 阿部 洋介		団体ウェブサイトURL
				<a href="https://www.sanrokuya.com/">https://www.sanrokuya.com/</a>
	制作団体所在地	〒 123-0841	最寄駅(バス停)	西新井大師西 駅
		東京都足立区西新井6-46-6		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	つがるしゃみせん あべや		
	公演団体名	津軽三味線 あべや		
	代表者職・氏名	阿部金三郎		団体ウェブサイトURL
				<a href="https://www.abeya36.com/">https://www.abeya36.com/</a>
	公演団体所在地	〒 123-0841	最寄駅(バス停)	西新井大師西 駅
		東京都足立区西新井6-46-6		
	制作団体 設立年月	2010年9月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表取締役社長 阿部洋介 役員 阿部人斎 役員 阿部園美	役員:3名 従業員:4名 出演者:15名	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	阿部洋介
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	阿部園美
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:abeya@sanrokuya.co.jp">abeya@sanrokuya.co.jp</a>		0356910160

制作団体沿革・  
主な受賞歴

## 株式会社 三六屋

株式会社三六屋は日本の伝統芸能、郷土芸能の発展と普及に努めるべく組織されました。国内外問わずその可能性を広げ様々なアプローチでその芸術や情報を発信しています。公演活動のサポートはもちろん音楽の指導、教育にも力を入れており様々なジャンルの芸能を幅広い層に広めるべくレッスン活動も大きな規模で展開。代表をはじめ社員構成員も若き人材を有しその力と才能を結集し、従来にはない発想で現代における伝統芸能のあり方進め方を演奏者と共に意見を交えながら作り上げていくスタイルは三六屋の最大の特徴です。また独自で立ち上げたプロジェクト「HINOARHYTHM」はパンフレット、ホームページはもちろん公演全体を全て英語で行うという新感覚の公演、ワークショップを行い言葉や国を問わず楽しめる伝統芸能のグローバル化を計るプロジェクトとして精力的に公演活動を実施しています。また革新的な取り組みと合わせて、先人が培った芸能は崩さず壊さず伝統を守り継いでいき、進取と温故知新の精神で伝統芸能の新しい「時代」をつくるプロフェッショナルチームです。

2014年 日・カリブ交流年事業公演達成  
2016年18年 「HINOMARHYTHM」開催  
2018年 津軽三味線・民謡団体「三乃会」と統合  
2019年 高知よさこい楽曲提供  
他CD出版多数

## 津軽三味線 あべや

津軽三味線全国チャンピオン 阿部金三郎・銀三郎兄弟を中心に結成された津軽三味線、民謡を中心とした日本民俗音楽芸能集団。古来より日本人が培ってきた魂の音をメンバー独自の構成で表現し、忘れかけていた日本の音の力、日本人の感性を呼び覚ます舞台を届ける。ただ音楽を聞くのではなく心躍り楽しませるというエンターテインメント性を重視した舞台には「笑い」「感動」「躍動」様々な転結を兼ね備え、見ている人を飽きさせない。躍動溢れる津軽三味線の旋律、どこか懐かしい民謡(うた)い、尺八のもつ日本古来の威風堂々とした音艶に、華やかな踊りが舞台を染める。若き溢れる演者の表情から一転した演奏表現は至高の作品である。2012年にはアメリカ6都市で公演ロサンゼルス、ポートランド、デンバー、ハワイ、シアトル、サンフランシスコ、UCLA(カルフォルニア大学ロサンゼルス校)とハワイ大学にて津軽三味線民謡ワークショップ開催。2013年イギリス公演、2014年中南米ツアー(ジャマイカ、ハイチ、ペリズ)と、近年活躍の場を海外へも広げている。世界数10カ国の公演を通して感じてきた日本の音の力を確信した、あべや独自の思想論「HINOMARHYTHM」は日本人が育んだ音の響きを世界中に届けるということを基礎に、世界を震撼させることで日本人が本当の「日本の力」を再認識するというプログラムでありそれを掲げる。若き才能がぶつかりあう魂の舞台を、日本・世界のステージで展開している。

## 【主な受賞歴】

阿部金三郎…平成17年度 全国津軽三味線コンクール 優勝  
阿部銀三郎…平成22年度 全国津軽三味線コンクール 優勝  
～兄弟そろって優勝の称号を手にはしているのは、あべや兄弟が史上初～

学校等における  
公演実績

平成23年度： 20公演  
平成24年度： 20公演  
平成25年度： 25公演  
平成26年度： 78公演(内文化芸術による子供の育成事業は16公演)  
平成27年1月20日 島根県立出雲養護学校で派遣事業を実施。  
平成27年度： 81公演(内文化芸術による子供の育成事業は17公演)  
平成27年11月27日 宮崎県都城市立石山小学校で派遣事業を実施。  
平成28年度： 65公演  
平成29年度： 64公演(内文化芸術による子供の育成事業は20公演)  
平成30年度： 68公演  
令和元年度： 72公演  
令和2年度： 82公演が予定されていたが、コロナ禍により12公演実施。文化芸術による子供育成総合事業(当初公演)： 30公演  
令和3年度： 87公演(内文化芸術による子供の育成総合事業は29公演)  
令和4年度： 82公演(内文化芸術による子供の育成推進事業は9公演)  
令和5年度： 85公演(内舞台芸術等総合支援事業は9公演)  
令和6年度： 70公演(内舞台芸術等総合支援事業は8公演)  
令和7年度： 78公演(内舞台芸術等総合支援事業は6公演)

特別支援学校等における公演実績	平成26年度 文化芸術による子どもの育成事業 派遣事業 島根県立出雲養護学校
	平成27年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業 宮崎県立清武せいりゅう支援学校 事前に学校の先生と連絡を密に取り合うことはもちろん、せいりゅう支援学校さんでは過去に経験のない生徒さん参加演目（白狐の嫁入りなど）のリハーサルを行いました。車椅子などに寝たきりの生徒さんが多くいらしたので、体験で生徒さんが前に出る際の動線を事前に確認しました。また楽器体験の際も撥で怪我をしないよう、弊社スタッフのみでなく担当の先生の補助を頂きながら、三味線や太鼓の音色を味わって頂きました。
	平成29年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業 滋賀県鳥居本養護学校 小学部から高学部まで年齢層が幅広い参加でした。特に小学部の児童さんが大きな音に驚く可能性があることを、ワークショップ時、担当の先生に確認をしていました。本公演では、通常より早めに舞台設営を開始し、あべやメンバーもいつもより早めに会場入り。担当の先生他、小学部の先生方にも体育館でのサウンドチェックに立ち会ってもらい、トラブルが生じないレベル調整を、音響エンジニアと舞台監督で綿密に行いました。結果、演出効果を損なうことなく、公演後は、児童・生徒さんまた先生方も、存分に楽しめたという評価を頂戴しました。

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/RHZ94wM6YJ8">https://youtu.be/RHZ94wM6YJ8</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり
----	----

【公演団体名 津軽三味線 あべや 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	津軽三味線・民謡邦楽 ユニットLIVE！			
企画のねらい	<p>“すぐそこにある日本の音 民謡”</p> <p>いま大人を含め、民謡をはじめとした”邦楽”に触れる機会はほとんど無いのではないのでしょうか。子どもたちに関してはなおさらです。しかし、何の知識がなくても”日本の音”をひとたび耳にすれば、思わずからだ動き出し、みんなで一緒に唄い出したいくなる—それが日本の民謡です。そんな民謡にまずは親しみ、楽しむ。そして民謡が、実は単なる音楽以上の魅力・底力をもっていることを知ってほしいのです。</p> <p>実際に民謡というのは、我々のすぐ近くにあります。日本の民謡は何万曲、何十万曲もあると言われているように、ご覧頂く児童・生徒さんの地域にもきっと民謡はあります。そこで描かれているのは、地域の気候・風土の中で育まれてきた生活、”人々の営みの景色”です。季節を通して行われる長い労働の中で自らを鼓舞する掛け声や、子どもをあやす時の子守歌、営みの中で自然に生まれた声や歌がそのまま音楽になったものが日本の民謡なのです。これらを聴く前と後では、いつも見慣れた風景や地域へのまなざしも、きっと変わっていることでしょう。</p> <p>この企画では、児童・生徒さんがイメージしやすい日本の音の代表格・津軽三味線を中心に、我々のすぐ近くにある日本の音、民謡の世界をご紹介します。このプログラムが、子どもたちにとってまたとない”日本の音楽への入り口”になればと願っています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>(別添①とあわせてご覧ください)</p> <p><b>津軽三味線 × 民謡</b> 音色の迫力やカッコ良さで老若男女の心をつかむ津軽三味線、その魅力は本プログラムを通して初めて邦楽の世界に触れる子どもたちにも容易に伝わることでしょう。しかし津軽三味線は元々、他の和楽器と同じように、民謡の伴奏楽器として誕生・発達してきたことはあまり知られていません。本プログラムでは、”津軽三味線×民謡”というきてもきれない関係をコンセプトに、広い民謡の世界へご案内します。</p> <p><b>①【津軽三味線は何で”津軽”？】</b> 津軽三味線の魅力はなんといってもその迫力の音。”日本の音”に親しみのない児童・生徒さん達でも、きっと気負いなく楽しんで頂けることと思います。また、単なる楽器・音楽として紹介するのではなく、津軽三味線をとっかかりに、”日本の音・民謡”が地域に根差して形づくられ、発展してきたことを クローズアップします。 WS:津軽三味線ってなあに？ 本公演:津軽じょんがら節</p> <p><b>②【南ではハイヤ！北ではアイヤ！】</b> 熊本県民謡の「牛深ハイヤ節」は、北前船の船員たちによって、日本各地の港町で口から耳、耳から口といった風に各地に伝わっていきました。その曲調や節回しは、それぞれの地域・風土ごとに、少しずつ形を変えてうまれたのが、新潟の「佐渡おけさ」、青森の「津軽アイヤ節」なのです。また、全国的な広がりだけでなく、人々の営みの景色を描いた民謡、営みと共に山を越え、川を渡り…という中で、じわじわと人々の心と共に広がっていったことでしょう。それが、民謡は我々のすぐ近くにあり、何万曲も、何十万曲もあるといわれる所以です。その様子を、実際の演奏をはじめとして、プロジェクター上映や、みんなで身体を使った合いの手・ソーラン節を通して、多角的に楽しんで頂きます。 WS:民謡ってなあに？(プロジェクター上映) 本公演:牛深ハイヤ節／みんなでソーラン！</p> <p><b>③【僕たち私たちの近くにも民謡が!？】</b> 「津軽じょんがら節」や「牛深ハイヤ節」は、日本を代表する民謡ですが、日本には他にも数えきれないほど多くの民謡があり、実際のどの地域にも必ず一つは民謡があることでしょう。それを体感できる、フィールドワーク的な試みをご用意しています。 WS:あなたの街の民謡大調査 本公演:民謡で旅をしよう！(民謡メドレー)</p>			

本公演・ワークショップの内容	<p>◎「みんなでソーラン！」 ワークショップで全員の児童・生徒さんに三味線・太鼓を触って、音出しを体験していただくのと合わせて、ソーラン節の踊りも体験。 本公演では、代表を選出(三味線10名・太鼓5名)していただき、本公演プログラムの一番の集大成「みんなでソーラン！」で、出演者と一緒に、日本の代表的な民謡であるソーラン節を大合奏していただきます。 ソーラン節は、かつて北海道の経済を大いに下支えたニシン漁の荒々しくもにぎやかな様を描いた民謡です。その情景をリアルに体現するために、各校にオリジナル大漁旗をご用意、これも代表者に元気よく振っていただき、フロアではからだ全体でソーラン節を踊る、まさに”みんなで”つくる全員参加の場面です。</p> <p>◎校歌演奏 本プログラムでは、日本の音や民謡、およびそこに描かれた風景が”すぐそこにある”ことを知ってもらうことを主眼としていますが、児童・生徒さんにとってそのような曲の代表格は学校の校歌ではないでしょうか。 実際に、校歌には地元の風景や古くから地域に根差した風土などの特色が必ず描かれている、一番身近なものです。 本公演では、事前に校歌の音源や歌詞を頂き、当日サプライズ演奏します。 また伴奏をピアノで学校代表の児童・生徒さん、先生にお願いすることで、またとない体験の機会となるだけでなく、和と洋のコラボ、音楽の奥深さをお楽しみ頂けます。</p> <p>◎合いの手参加 民謡で欠かすことのできない”合いの手”。本公演では、牛深ハイヤ節をはじめとした各地の代表的な民謡をご紹介します。聴く前は「ちょっと恥ずかしいかも」なんて心配していたことも忘れ、自然と体が動き出すことでしょう。 まさに「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにや損々！」</p>			
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	700人程度まで
			鑑賞人数目安	700人程度まで
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>(別添②:公演プログラムの流れ・イメージにご参照ください)</p> <p><b>津軽三味線・民俗芸能 邦楽ユニットLIVE！</b> 一、白狐の嫁入り …黒澤明監督の映画「夢」の1シーン「狐の嫁入り」をモチーフに、幻想的な雰囲気 연출 二、妖気太鼓 …(津軽三味線を中心に構成したあべやオリジナル曲) 三、「青くとも紅く」 …(津軽三味線を中心に構成したあべやオリジナル曲) 四、「嵐」 …(津軽三味線を中心に構成したあべやオリジナル曲) 五、津軽三味線曲弾き対決 …三味線創始の頃の野外での即興的演奏を、兄弟ならではの対決風にアレンジ 六、関東一番太鼓 …江戸助六太鼓の流れを汲む、情緒あふれた粋な太鼓演奏 七、体験 太鼓教室 八、民謡で旅しよう！ …北前船と一緒に旅をするように、各地の民謡をメドレー形式でご紹介 九、体験 牛深ハイヤ節 …民謡に不可欠な”合いの手”で参加できる、日本の民謡の”原点”ともいうべき曲 十、「安来節〜どじょう堀い〜」 …単体での全国大会が開かれるほど言わずと知れた島根県を代表する民俗芸能 十一、体験 みんなでソーラン! …誰もが知っている民謡で、三味線・太鼓・唄・踊りに分かれ一体となった全員参加 十二、校歌演奏 十三、津軽じょんがら節 …津軽三つ物(じょんがら節・よされ節・おはら節)に数えられる青森県を代表する民謡 十四、スペシャルフィナーレ …最後は、にぎやかに楽しく、唄え踊れのスペシャルフィナーレ！ 数ある民謡曲の中でも、めでたい寿ぎの曲で締めくくります(銭太鼓 又は 南部俵積み唄)</p>		
		公演時間	90	分
	出演者	<p>◆阿部金三郎(兄)／平成17年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 ◆阿部銀三郎(弟)／平成22年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 ◆根本麻耶／平成12年 郷土民謡協会全国大会ハイライト優勝 ◆安藤龍正／部門別で競われる安来節全国大会で全部門優勝 ◆佐藤公基／平成12年 少年少女民謡大会において優勝 ◆若獅子太鼓・三宅治／第15回伝統音楽公演 日本の太鼓、伝統と創造において大太鼓一人打ち競技大会優秀賞受賞 他</p> <p>※阿部金三郎、阿部銀三郎以外の出演者は、日程により変更の可能性がございます。</p>		
	演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	<p>全国津軽三味線コンクール(若手のチャンピオンを決める大会)で、阿部金三郎・銀三郎兄弟は別年度でそれぞれ優勝の称号を手に入れている。なお、兄弟で優勝の称号を手にしたのは、このあべや兄弟だけである。 津軽三味線の名手・阿部秀三郎を父に持ち、幼少の頃より津軽三味線の英才教育を受け育つ。 いまや津軽三味線の世界のトップランナーとなり、世界水泳2023福岡大会では会場内の選手入場曲等に演奏で参加するなど多方面で活躍している。</p>		
	<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む</p>	<p>出演者: 7 名</p> <p>スタッフ: 4 名</p> <p>合 計: 11 名</p>	運搬	<p>積載量: 1 t</p> <p>車 長: 5.3 m</p> <p>台 数: 2 台</p>



<b>本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	8時45分	9時00分～12時30分		13時30分～15時00分	なし	15時00分～17時00分	17時00分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
<b>本公演 実施可能日数 目安</b>  ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月	
	14日		6日		6日		21日	
	10月		11月		12月		1月	
	3日		5日		15日		14日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		84日	
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)	 <p>上：本公演の集大成「みんなでソーラン！」のコラボ合奏の様子／下：本公演では実際に触れる体験・展示も充実</p>							
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <h2 style="text-align: center;">体験・展示ブース</h2> <p><b>開演前から、 終演後の余韻まで・7口の演奏を 聴いた興奮後もご自由にどうぞ！</b></p> <p>三線・細 樟三味線・津軽三味線を展示 します。またワークショップで体験した 銭太鼓やささらなどをご準備しますの で、生徒さんだけでなく近隣の方もご覧 いただき、自由に触って、音を出しても らいます。</p> <p style="text-align: center;"><b>本公演で使用している 楽器などの展示。 自由に触れて体験できます。</b></p> <p><b>【楽器 + “地元フーズ” を設置】</b> 地元や県に伝わる民謡の歌詞やその背 景などを展示します。また各校と相談の 上、子供たちに伝え残したい物を展示。 【漁網でも農機具でも、何でもいいです】</p> <p style="text-align: right;">▲地域の方と共に地元の民謡や物産等を展示することで 地元の風土を理解。</p> <p style="text-align: right;">▲三味線のルーツを学べるコーナーです、ワークショップのおさらいに！</p> </div>							
<b>著作権、上演権等 の許諾状況</b>	各種上演権、使用权等の許諾手続の要 否			該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況				

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

あり

【公演団体名 津軽三味線 あべや 】

ワークショップの  
ねらい

古臭いと思われがちな邦楽の世界へ”はじめての一步”をふみ出すために一。

邦楽の入り口として、津軽三味線や民謡というのは、子どもたちの”はじめて”にふさわしいものです。実際我々のすぐ近くにあり、自然とからだ動き出してしまうほどの楽しさをもったものですが、子どもたちにとっては、なかなか馴染みがないのも事実です。

本プログラムではプロジェクターを活用しながら、あべや兄弟の楽しいトークと、クイズや実演、また児童・生徒さんの体験を交えながら、津軽三味線と民謡に親しんでもらいます。また、本来”日本の音”や民謡が持つ楽しさに触れるだけでなく、これらがどのように地域の気候・風土から生まれ、人々の生活に根付いていったのかにスポットをあてて紹介します。単なる楽器・音楽という枠を飛び越えて、日本の音の奥深さに触れるファーストステップになります。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

700人程度まで

## ワークショップの内容

ワークショップ  
実施形態及び内容

(別添③:公演プログラムの流れ・イメージにご参照ください)

叩こう！ 弾こう！ 唄おう！ 踊ろう！～さわって体験！はあ～どっこい！～

パートⅠ 津軽三味線

一、津軽三味線の音色を楽しむ まず一曲、ご挨拶。津軽三味線の迫力ある世界へようこそ

二、津軽三味線ってなあに？ 《プロジェクター》

○津軽三味線を知る(解説／鑑賞)

児童・生徒さんにとって、津軽三味線は数多くある楽器の一つにすぎないでしょう。

しかし、津軽三味線がうまれるまでには意外な物語がありました。

また、同じ三味線兄弟である沖縄の三線や、大阪の細棹三味線。

しかし弾いてみると…その音色の違いにびっくり。このような音色の違いは、どこからくるのかな？

(沖縄三線「蛇」／大阪 三味線(細棹)「猫」／津軽 青森 津軽三味線(太棹)「犬」)

## 三、リクエスト演奏コーナー

その場で児童・生徒さんから、聴きたい曲のリクエストを受けます。

三味線にはドレミがなく、洋楽器と音階が異なるため、現代曲を弾くのは、実は難しいことです

パートⅡ 民謡

四、民謡ってなあに？ 《プロジェクター》

○民謡の解説

全国津々浦々にある民謡を、プロジェクターに日本地図を投影しながらご紹介

○民謡は旅をする？！

全国を巡る「北前船」を介しそれぞれの生活の中に定着し、その地域毎の変化を遂げた民謡。

牛深ハイヤ節、佐渡おけさ、津軽アイヤ節など実際に演奏して同じ曲である民謡がどの様に

地域によってアレンジされたのか、プロジェクターを用いながら明快に解説します。

○民謡クイズ”ことばとところ”

民謡が、日常のどんな場面を表現したのかを、プロジェクターを使いクイズ形式で紹介。

○【体験】民謡うたってみよう

民謡では、どこまでも届くのびやかな唄声が最大の特徴。

その発声方法を体験しながら、民謡の“ところ”に触れてみましょう。

パートⅢ 体験コーナー

五、どうやって“音”は鳴る？～民謡楽器4兄弟～

実際に民謡で使われる代表的な楽器、津軽三味線・笛・太鼓、当り鉦などをご紹介します。

よく見てください、同じ楽器でも、弾く・吹く・叩く・打ち鳴らすと、鳴らし方がそれぞれ違います。

人々の暮らし・生活と直結し魂をゆさぶる“民謡”と一緒に発展してきたこれらの楽器を

”民謡楽器4兄弟”と名付けて、素朴でありながら、個性的な民謡の世界を実感。

六、音を鳴らしてみよう！

津軽三味線をはじめとした”民謡楽器4兄弟”を、実際に触って鳴らしてみよう！

実際に手に取って鳴らしてみること、その楽器がどんな情景を表すためにうまれたものなのか、

思い浮かべてみましょう。

パートⅣ 本公演に向けて

七、みんなでソーラン！～お稽古～

一度は聴いたことのあるソーラン節。

その特徴的な振付けや節回しは、北海道の昔ながらのニシン漁のしぐさをそのまま表しています。

ワークショップの「お稽古編」では、基本の踊り方と「合の手(掛け声と手拍子)」を練習します。

これが本公演で、どう変化するのかは…本公演のお楽しみです！

その他ワークショップに 関する特記事項等	
-------------------------	--

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 津軽三味線 あべや 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		50 A以上
舞台設置面積	間口	5 m		奥行	3.5 m	
	高さ	3 m				
舞台設置場所	フロア対応	不可		学校のステージでの対応		可
搬入間口の広さ	幅	2 m		高さ	2 m	
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否			有無のみ確認したい
ピアノの使用について	あれば必要に応じて使用する		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			あり
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			30 m以内
搬入車両の種類	ハイエース		台数	2 台		
搬入車両の大きさ	車幅	1.88 m		車長	5.38 m	
備考						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演					
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意) 会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

体育館  
舞台

スペースの  
確保が必要

設置舞台

3.5

スペースの  
確保が必要

5.0m

2.5 m

ス  
ペ  
ー  
ス  
の  
確  
保

1.5  
m

ス  
ペ  
ー  
ス  
の  
確  
保

鑑賞位置

鑑賞位置

体育館  
フロア

展示コーナー

間口

フロア使用時

後方

トラック

会場簡易図面

別添

なし

【公演団体名 津軽三味線 あべや 】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

これまでの公演ノウハウを十二分に活かす主体性・能動性を育てるプログラム

## ○まずは和楽器に触って音を出す。その重さと音色を体感！

三味線・民謡に触れる機会は普段の生活の中であるでしょうか。現在の学校教育でも洋楽器の楽器演奏・体験は充実している反面、和楽器の普及が進まないのが現実です。本事業を通して、和楽器に直に触れてその楽しさを体験してもらいます。

## ○思わずからだが動いてしまう、表現することの楽しさ

声を出して唄うのは抵抗がある。恥ずかしいな・・・という生徒さんも一緒に楽しめる民謡の合いの手やソーラン節。本来民謡は、気が付くと手拍子をしている、日本人のDNAを呼び覚ますソウルミュージックです。リズムを感じて動くことによってタイミングや間合いを、児童・生徒さんそれぞれが体に吸収します。また何より日本の音が楽しいという感性を育てるきっかけづくりになります。初めてでけど何故か懐かしい・・・感覚が呼び覚まされます。

## ○日本の音はいつでも日本人の生活の中に生きている

民謡、和楽器は日本の風土、日本人の心に根付いています。また日本の音は力強さ、胸を打つ響きがあります。ワークショップから本公演を通して、演奏を聴くだけでなく、本物の和楽器を演奏する、一緒に唄うことで、音を出す難しさや重さや肌触りを体験、また民謡を唄える喜びが生まれます。現代はTVやネットの情報ばかりが先に進みますが、そんな時代だからこそ、実際に演奏し唄う機会は貴重な体験となります。

## ○地元の良さを再発見する！

普段何気なく見ていた山や川などの風景、特産品は、古くから地元の人の心に根差した心象風景であることを知るだけでなく、「“民謡”ってなあに？」という子どもたちの問いは、家族や近隣の人達との会話を生むことでしょう。是非当日は、保護者や地元の方々にもご鑑賞していただき、地元の民謡を通して、活発な交流につながるものになればと考えております。

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

日本の音は古くない！新鮮で楽しい！楽器体験・メリハリのある番組構成で演出

## ○「あべや」でしかできないプログラム構成

サプライズ登場から始まり、お腹に響く太鼓演奏、かっこいい津軽三味線競演、堂々たる尺八、滑稽なドジョウ掬い、みんなで唄う民謡、それらを繋ぐ軽快なMCなどなど。開演からフィナーレまで、隙間なく飽きることのないプログラムを構成します。

## ○学ぶだけでなく楽しみながら体験をし、日本の音を知る

ワークショップは音楽教室でなく、あくまでも体験重視とし、その楽しさからルーツや秘められた意味などを知ってもらいます。民謡が様々な地域を渡り、全国に伝わった経緯や、三味線が沖縄・堺・津軽でどのように違いがあるのか。クイズや実物を見て、鮮やかに記憶に残します。

## ○体育館を迫力あるエンターテインメント空間に変える

ただ和楽器をステージに配置するだけでなく、垂れ幕や飾り幕などの舞台道具を設営して、ステージをより華やかに彩ります。それに各楽器の音色を最大限に引き出す音響設営を施し、曲調により変化するステージ照明、客席でのパフォーマンスを際立てせる客席照明効果を加えて、全体として体育館に“日本の音ライブ”の異空間を創造します。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ  
円滑に実施するための  
工夫

【学校との連絡調整について】

特に近年は、本プログラムではWS・本公演を同日内に行う形態が多くなっていることから分かる通り、学校様のご意向やそれを踏まえた柔軟な提案を心がけております。またWS・本公演を、別日または同日内に行う学校様で、公演内容や質に差が生じないようプログラムが組まれており、それに伴う学校様の事前準備や、児童・生徒の作成物などが発生しない内容となっております。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

本公演の冒頭、全体薄暗くなった客席後方から行列をなして登場するサプライズ演出がございますので、こうした演出がある旨は、学校様との連絡調整の中で事前にお伝えさせて頂きます。  
一見怖い演出に思えますが、行列の中の出演者が時にコミカルな表情や動きをしながら練り歩くことで、鑑賞する児童・生徒さんの肩の力を抜いてリラックスしてご覧頂けることと思います。WSでは、やさしく面白いお兄さんが教えてくれる民謡や津軽三味線の世界に触れ、本公演では同じお兄さん達がうって変わって、カッコよく幻想的にでもあくまでも”面白く魅せる”あべやのエンターテインメントを、いまの児童・生徒様方に体感して頂ければと思います。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

従来の本プログラム内では、日本には様々な民謡があることを紹介し、ご覧頂く学校や皆さんの地元にも民謡があることを伝え、WS～本公演までに探してもらい、本公演で披露するなどしていましたが、かえて本公演で披露することでそこで終結してしまっていたように感じたため、今回申請からあえて、地元の民謡に触れたり、探してもらったりということは促さず、本公演の最後の”皆さんへの投げかけ”として、きつとご覧頂いたみんなの近くにも民謡はあること、今回のプログラムとの出会いをきっかけに、日本の音楽、および地元の風景・風土からうまれる音楽へのまなざしにつなげてほしいとお伝えすることで、鑑賞後の継続的な学びがうまれることを期待しています。



リンク先

No.2

【公演団体名

津軽三味線 あべや

】

別添①

唄・尺八・踊り・太鼓

すぐそこにある  
日本の音  
民謡



津  
軽  
三  
味  
線

津  
軽  
三  
味  
線

“日本の音”をひとたび耳にすれば、  
思わずからだ動き出し、  
みんなで一緒に唄い出したくなる。  
底知れぬ日本の音、民謡の持つパワーと、  
津軽三味線の力強い音色が合わさった時、  
子どもたちの中で何かが呼び起こされる。



項目内容

別添②

本公演・プログラム

公演時間:90分

一緒に楽しむ！日本の音

津軽三味線・民謡邦楽ユニットLIVE!

津軽三味線 あべや

すぐそこにある日本の音

魂をゆさぶる響き

いよいよ津軽三味線が登場！体を突き抜けるハイテンポな音色と響き渡る尺八にも注目！

頂上を極めた超絶技巧

史上初・そろっての全国優勝兄弟による、津軽三味線の超絶技巧バトル！

民謡

受け継がれる唄

みんなで一緒に北前船に乗った気分で、各地の民謡をめぐってみましょう！

体験

からだ全体で唄う楽しさ  
(牛深ハイヤ節 合いの手)

民謡に不可欠!!  
低学年・高学年・先生チームに分かれての合いの手合戦！

体験

みんなでソーラン!

あべやと一緒に、みんなに参加！津軽三味線10名、太鼓5名、唄子(合いの手)踊り、手拍子、全校生徒で、『ソーラン節』を演奏します。

日本の音で遊ぶ

本公演プログラム

一、白狐の嫁入り【オープニング演出】 二、妖気太鼓 三、「青くとも紅く」 四、「嵐」 五、津軽三味線曲弾き対決 六、関東一番太鼓 七、太鼓体験教室 八、民謡で旅をしよう！ 九、牛深ハイヤ節～みんなで囃そう～ 十、安来節（どじょうすくい） 十一、みんなでソーラン！ 十二、校歌演奏 十三、津軽じょんがら節 十四、民謡スペシャルフィナーレ



別添③

ワークショップ・プログラム

公演時間:90分



映像と楽しいお話で進行します!!

さわって体験! はあ〜どっこい!



パートⅠ 津軽三味線

一、津軽三味線の音色を楽しむ まずは一曲、ご挨拶!

○津軽三味線の演奏

〜津軽三味線の迫力ある音と、あべや兄弟の軽妙なトーク!日本の音を楽しもう!〜

二、津軽三味線ってなあに?

プロジェクター上映

○津軽三味線を知る(解説)

三、リクエスト演奏コーナー

ドレミがない三味線で現代曲を弾くのは…実は難しい!?



僕たちが説明するよ!



パートⅡ 民謡

四、民謡ってなあに?

プロジェクター上映

○民謡の解説

○民謡は旅をする?!

○民謡クイズ“ことばとところ”



ア、だいるやーだいるだいる  
角出せだいる  
角を出さぬと曾根の  
代官屋に申し上げるが  
いかにだいる  
①ア、だいるやーだいるだいる  
②ア、だいるやーだいるだいる  
③ア、だいるやーだいるだいる



津軽アイヤ節  
唄が流れる  
津軽の唄が  
ソレモイヤー  
あいや節

佐渡おけさ  
居よい住みよい 噂の佐渡へ  
連れて行く気は ないものか

牛深ハイヤ節  
ハイヤで今朝出した  
船はエー  
どこの港に  
サーマ  
入れたやらエー

阿波踊り  
踊る阿呆に見る阿呆  
同じ阿呆なら踊らにやもんそん



体験 ○うたってみよう!

民謡では、どこまでも届く  
のびやかな唄声が最大の特徴。  
その発声方法を体験しながら、  
民謡の“ところ”に触れてみましょう。

みんなの地元には  
どんな民謡があるかな?

分かったかな?

パートⅢ 体験ひろば

五、どうやって“音”は鳴る?〜民謡楽器4兄弟〜



六、音を鳴らしてみよう!



パートⅣ 本公演に向けて

七、みんなでソーラン!



\*■は合の手

チョイ

ヤサエ

エンヤンサー

ハアーア

ドッコイショ

ドッコイショ ア ドッコイショ ドッコイショ